

## 6月9日：ベトナム株は引け間に反発

ベトナム株は上昇トレンドに戻り、引け間に買いが集まった。外国人投資家動向も改善の兆しを見せ、両市場で買い越しとなった。

ホーチミン取引所のVN指数は6.21ポイント（0.56%）高の1,107.53ポイントで取引を終えた。

木曜日には利益確定圧力が強まり、8.22ポイント安となっていた。

午前中は売り圧力が継続し、1,090-1,100ポイントで上下していた。大型株を中心としてリスクオン姿勢が強まり、取引終了間に上昇した。

サイゴンハノイ証券のアナリストの予想通りの動きとなった。同社は調整後に1,150ポイントを目指すと予想している。

一方、依然として値下がり銘柄数が値上がり銘柄数を上回っている。

一方、前日に6か月ぶりの高水準となっていた流動性は低下した。出来高は9億株、売買代金は16.5兆ドンだった。

大型株で構成されるVN30指数は8.39ポイント（0.77%）高の1,100.85ポイントで取引を終えた。VN30指数では18銘柄が上昇、11銘柄が下落した。

製造業、金融セクターが相場を主導した。マサングループ（MSN）は2.82%高となり、相場を押し上げた。

その他、ベトコムバンク（VCB）、テクコムバンク（TCB）、ドゥックザンケミカル（DGC）、SSI証券（SSI）などが大きく上昇。

不動産、IT、小売セクターも堅調で投資家心理を改善させた。

一方、主な下落銘柄はBIDV（BID）、ベティンバンク（CTG）、ベトジェット航空（VJC）などが挙げられる。

ハノイ取引所のHNX指数も上昇、0.82ポイント（0.36%）高の227.6ポイントで取引を終えた。

出来高は 1.28 億株、売買代金は 1.92 兆ドンだった。

外国人投資家は両市場合わせて 750 億ドンの買い越しだった。

---

### ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI)から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。